

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

留学生選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文（志望専修科目の基礎）刑法研究A	不可

刑法における学派の争いについて論じなさい。

令和8年度 国土館大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	法学研究科 法学専攻
試験期別	I期
試験区分	留学生選考
試験科目名	刑法研究A(小論文)

■出題の意図

下記の諸点について受験者の力量を判定するのが、本出題の目的である。

- ・刑法の基本論点について、理解しているか。
- ・学説の対立について理解があるか。
- ・日本語での論述式の解答に習熟しているか。
- ・日本法の専門科目の出題に対して、十分に解答できているか。
- ・問題の所在の指摘や、概念整理を欠いていないか。
- ・結論と理由付けがしっかり示されているか。

■採点のポイント

刑法学における基本的概念について、正確な知識を有しているか。

見解の相違点や対立をうまく指摘できているか。

出身国の制度のみを説明するような答案是、本問出題に対する適切な解答とはいえない。

いわゆる古典学派と新派の対立、さらに新古典学派につながる系譜を理解しているか。

客観主義／主観主義、行為主義／行為者主義などの基本概念・基礎用語を正しく用いているか。

刑罰観の対立や発展についても触れてあることが望ましい。しかし刑罰論の観点からのみ記述するような答案是、刑法の出題であることを理解しているとはいえない。

現代における問題にまで目が向けられていると大変によい。